

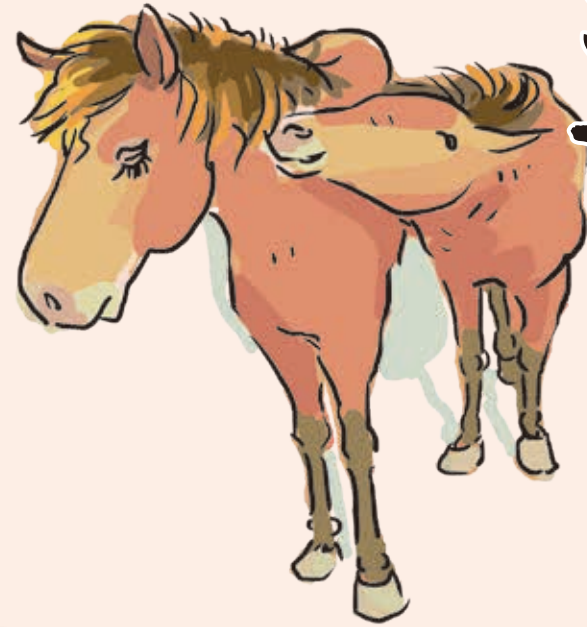
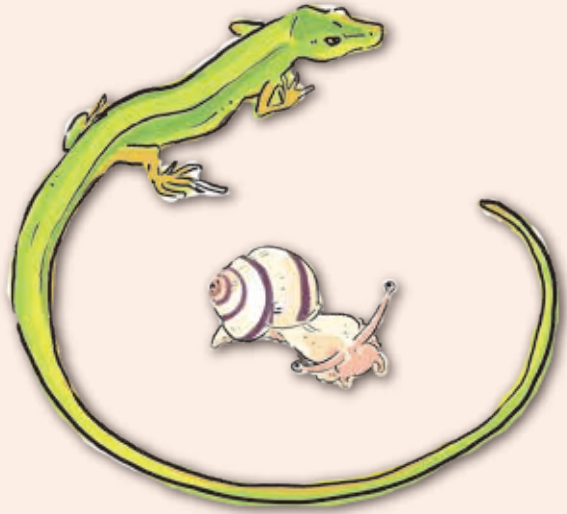
新 宮古島市 neo 歴史文化ロード

# 綾道

あやんつ

自然・動物編

しぜん・どうぶつへん



宮古島市 neo 歴史文化ロード 綾道 自然・動物編



# 綾道

あやんつ

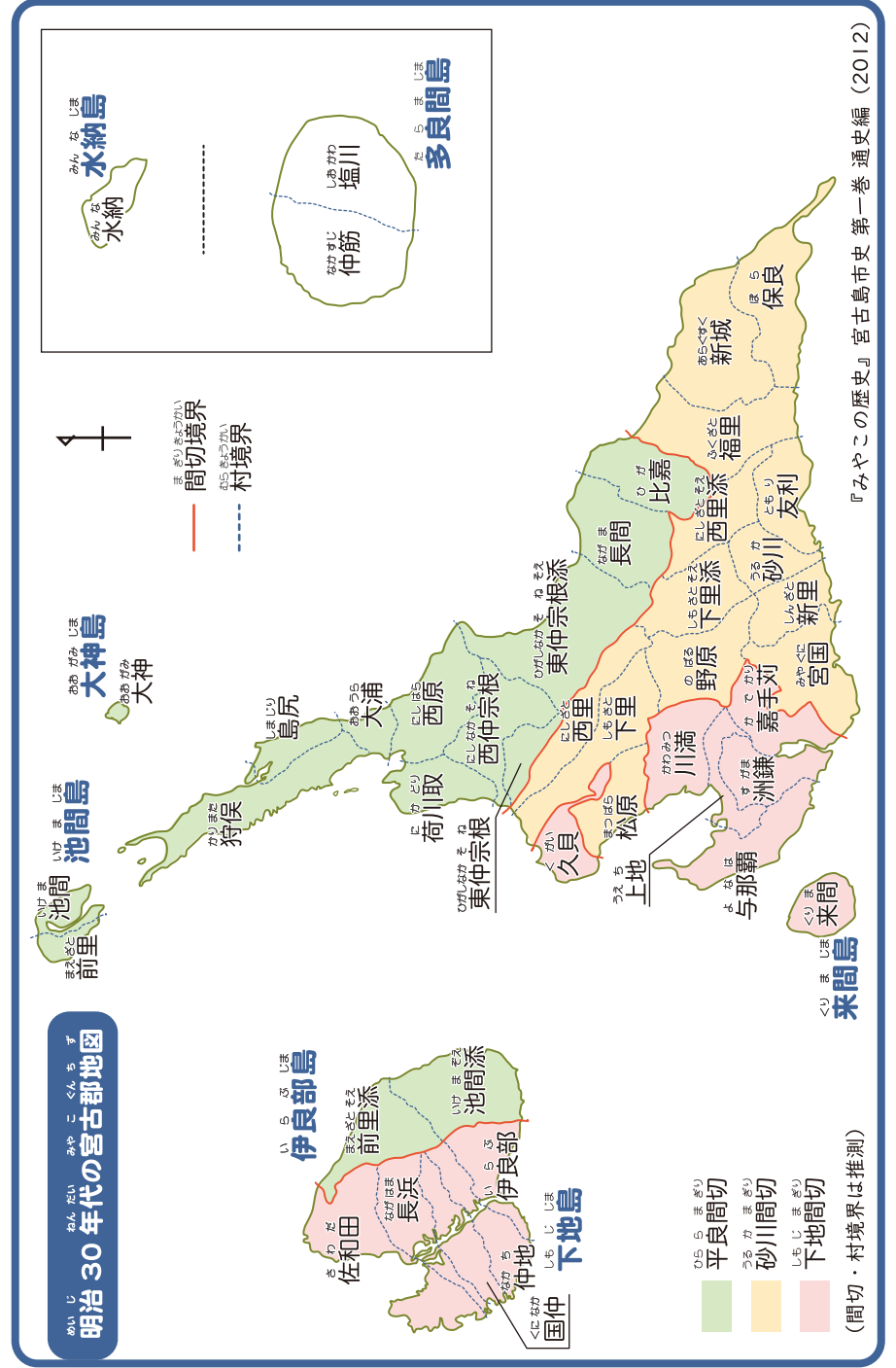
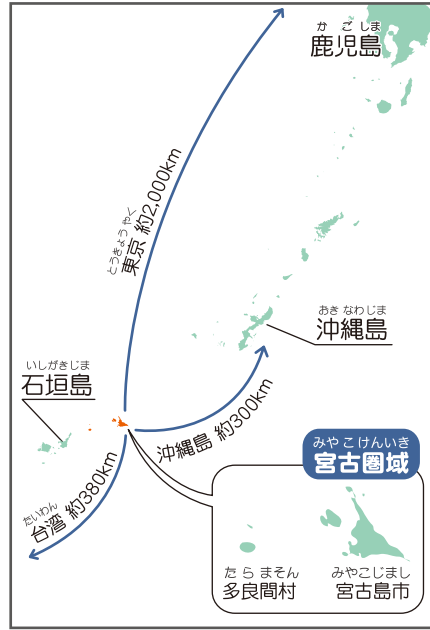
綾道  
あやんつ  
「綾のある道」のことを、宮古のことばで「あやんつ」といいます

みやこしまし いちめんせき  
宮古島の位置と面積

みやこしまし だいしょうしま みやこしま  
宮古島市は大小6つの島(宮古島、  
いけまじま おおがみしま くりまじま いらぶしま しも  
池間島、大神島、来間島、伊良部島、下  
じしま こうせい  
地島)で構成されています。

そうめんせき へいほう  
総面積は204平方キロメートル、人  
こうやくまん だいぶぶん  
口約5万6,000人で、人口の大部分は  
ひらちやく しゅうちゅう  
平良地区に集中しています。

しまぜんたい へいたん さんかくぶ おお  
島全体がほぼ平坦で、山岳部や大き  
かせん せいかつようすい  
な河川もなく、生活用水などのほとん  
ちかすい たよ  
どを地下水に頼っています。



『みやこの歴史』宮古島市史第一巻 通史編 (2012)

(間切・村境界は推測)



宮古島市neo歴史文化ロード **綾道 自然・動物編**

宮古島市の位置と面積.....	02
明治30年代の宮古郡地図.....	03
環境ごとの観察場所.....	06
宮古諸島の動物と自然.....	08
激動を生きた動物たち ~化石からわかる動物相~.....	10
いまはない島があった!? “OMSP”仮説.....	11
動物の分類.....	12
<b>ほ乳類</b> .....	<b>13</b>
宮古馬.....	13
宮古馬の歴史.....	14
ジュゴン.....	16
ネズミ・モグラ類.....	18
コウモリ類.....	19
<b>鳥類</b> .....	<b>20</b>
旅鳥.....	21
サシバと宮古の人びと.....	22
留鳥.....	24
夏鳥.....	26
かんさつのコツ・気をつけること.....	26
アジサシ類.....	27
サギ類.....	28
冬鳥.....	29
人と関わりの深い鳥たち.....	30



<b>爬虫類</b> .....	<b>32</b>
トカゲ類.....	32
保護対象なのに外来種?.....	35
ヘビ類.....	36
<b>両生類</b> .....	<b>38</b>
生き物に関わる法律や条例.....	39
<b>陸棲・陸水棲 十脚甲殻類</b> .....	<b>40</b>
ヤシガニ.....	40
ヤシガニの保全.....	41
オカヤドカリ類.....	42
オカガニ類.....	44
ミヤコサワガニ.....	45
<b>陸産貝類</b> .....	<b>46</b>
意外と知らない陸産貝類.....	48
野外観察のときに気をつけること.....	49
宮古のゆがたい ネズミとヤドカリのおはなし.....	50
宮古のゆがたい カエルとイノシシの知恵比べ.....	51
外来種 入れない、捨てない、拡げない.....	52
文化財の体系図・一例.....	54



※御嶽は祭祀などを行う大切な場所です。神聖な場所なので入らないようにしましょう。



# 環境ごとの観察場所



ジュゴン...p16



ジュゴンが見られるかも...!

サシバの飛来数 No.1!!



サシバ...p21

伊良部島

池間島

県内最大の湿原

ムラサキサギ...p29



オカガニ...p44  
旧暦7月の満月の満潮前後が産卵時期



大神島

島尻マングローブ  
マングローブにすむ生き物を観察できる  
オカヤドカリ...p42



海岸近くでよくひなたぼっこをしている



キシノウエトカゲ...p33

下地島

おうちの中、庭の石の下、木の下、葉っぱの裏、水たまり、

火田、貯水池... あんがいすぐ近くに  
かかっているヨ!

ミヤコヒキガエル...p38

水辺を好む鳥が見られる



クロツラヘラサギ...p29

来間島

ヤシガニ...p40



- ほ乳類 ..... p13
- 鳥類 ..... p20
- 爬虫類・両生類 .... p32
- 十脚甲殻類 ..... p40
- 陸産貝類 ..... p46

大野山林、野原岳、牧山、上比屋山は生き物の宝庫  
生き物に関わる法律や条例...p39

宮古馬に会いに行こう!  
宮古馬...p13



夏はアジサシが見られる  
アジサシ...p27



カーとろ呼ばれる湧水にはエビヤカニがすんでいる

海の崖ちかくをよく飛んでいる  
ミサゴ...p29



本文の見方

宮古の方言名

動物名

動物の特徴と宮古での利用例など(地域によって異なる)

※方言名は一般的な呼び方を記載。地域によって異なる。読みの表記は宮古島市史『みやこの自然と人』に準ずる

生息する場所

- 人里
- 畑・草原
- 森林・海岸林
- 湿地・干潟
- 海
- 砂浜

宮古固有種

外来種

# みやこしょとう どうぶつ しぜん 宮古諸島の動物と自然

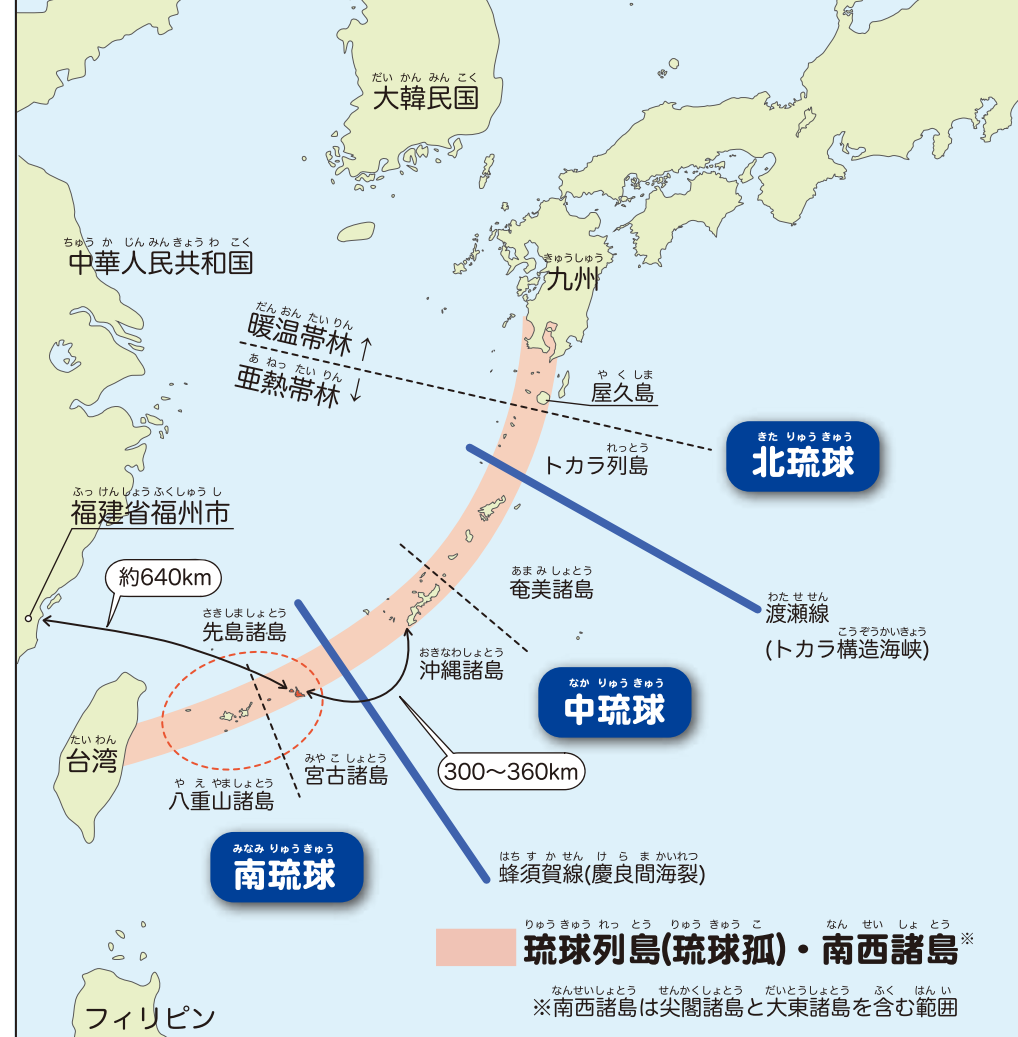
九州南端から台湾の間には200を超える島々が点在し、南西諸島と呼ばれます。その中で大陸に沿って弓なりに並んでいる列島を、琉球列島(琉球弧)と呼びます。琉球列島は断層などを境にして北琉球・中琉球・南琉球に区分することができ、この区分は生物分布の境界線にもなっています。

例えば、オオコウモリやハブ、キノボリトカゲなどは渡瀬線が分布の北限となっていて、中琉球と南琉球でしか見られません。また、キンバトやムラサキサギなども

は蜂須賀線が分布の北限になっています。

宮古諸島は山地も河川もなく、平らで自然も変化がないように見えますが、詳しく調査してみると、島の環境に適した個性ある動物たちが生息しています。これらの動物の中には、宮古諸島にだけ生息している固有種や、国・県指定の天然記念物もあります。

また、大陸や日本列島の渡り鳥たちが南下するときの中継地でもあり、季節ごとにさまざまな種類の鳥を観察することができます。





**宮古にもゾウがいた!?**

げんざい しょうとう おおがた りくせい にゅうるい  
 現在の宮古諸島には大型の陸棲ほ乳類やハブ類はいま  
 せんが、かつて生息していたことが分かっています。

宮古諸島は、島尻層群と琉球層群と呼ばれる地層が重  
 なってできています。その琉球層群が溶けてできた洞窟  
 や割れ目に堆積物が入り込み、そこからゾウやシカやイ  
 ノシシ、ヤマネコ、クイナやツル、大型のハブなどの化  
 石が見つかっています。これらの中には沖縄諸島やそれ  
 以北に今も生息している種に近いものも含まれていま  
 す。こういった化石は、宮古諸島が大陸やほかの島々と  
 つながっていた時期があったこと、何らかの理由で宮古  
 諸島から姿を消した動物がいることを示しています。

**海に沈んだ大きな島があった!?**

きんねん おーえむえすびー  
 近年、「OMSPという大きな島が沖縄島と宮古島の  
 あいだ さんざい 橋のような役割をしたので  
 はないか」という仮説が注目されています。今後、この  
 仮説をもとにさらに研究が進めば、宮古諸島の動物につ  
 いての謎が明らかになるかもしれません。

※OMSP : Okinawa-Miyako Submarine Plateauの略

**今までのナゾ**

海中  
 地層を調べると  
 宮古は完全に  
 水没していた  
 時期がある。

なのに。  
 海を渡れない鳥や  
 ハブの化石や、

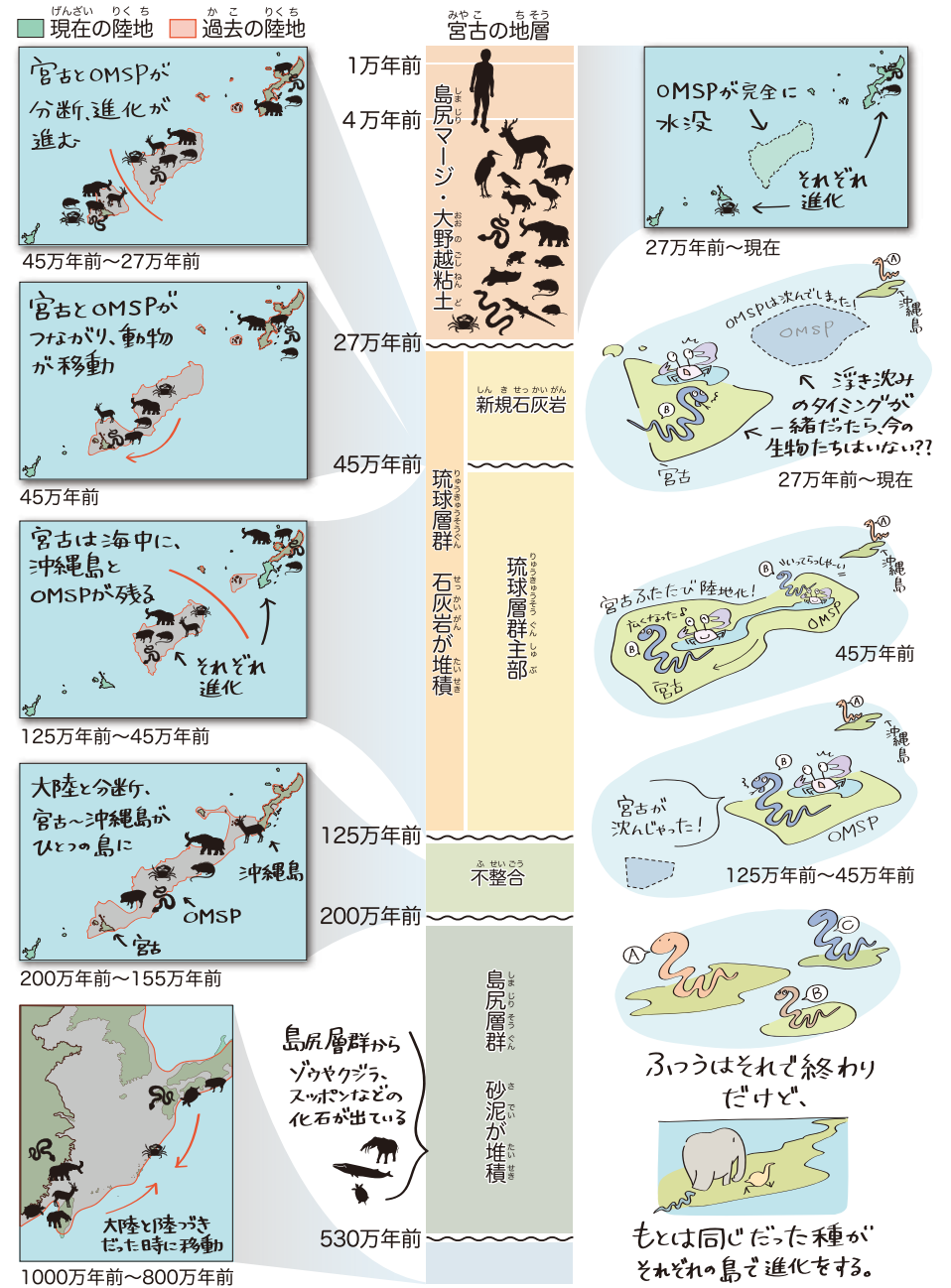
淡水でしか  
 生きられない  
 ミヤコサワガニ、

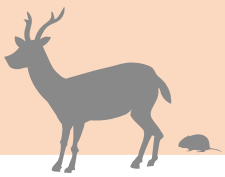
沖縄島とは別で  
 進化したミヤコバア  
 がいる。

宮古は海の中  
 海中に沈んでいるのは  
 石確かなのに  
 ...なぜ?

**いまはない島があった!?"OMSP" 仮説**

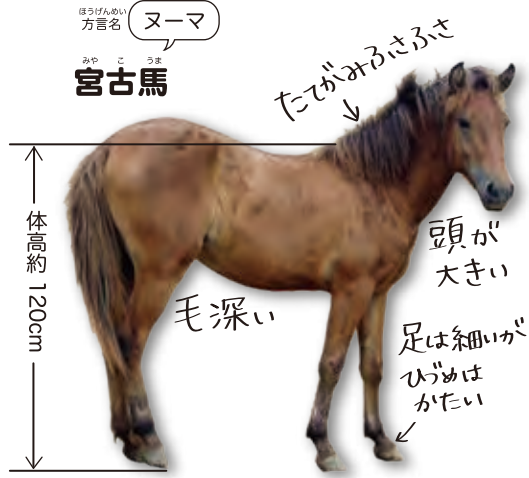
監修：井龍康文さん(東北大学 変動海洋エコシステム高等研究所 教授)





# ほ乳類

現在、宮古諸島に生息するほ乳類はネズミ、コウモリ、イタチの小型種のみで、これまで4目9種が確認されています。それ以外に、島の人々の生活に関わってきたほ乳類として、宮古馬やジュゴンがいます。



県指定天然記念物(1991)

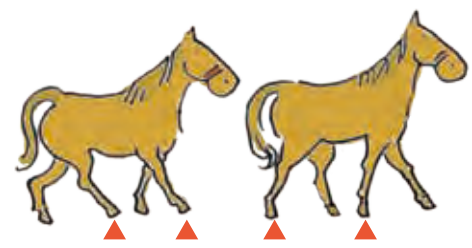
宮古馬は日本在来馬8種のうちの1種です。温厚な性格で病気に強く、忍耐力に優れています。固く強いひづめを持ち、荷運びや畑仕事の担い手として重宝されました。また、側対歩が得意で、ソマハラシー(琉球競馬)で優勝するほどの活躍でした。どの家も「ヌーマタツ」という小屋で大切に飼っていたそうです。

「ソマハラシー」は馬け足ではなく、いかに美しく速く歩くかが競われた。



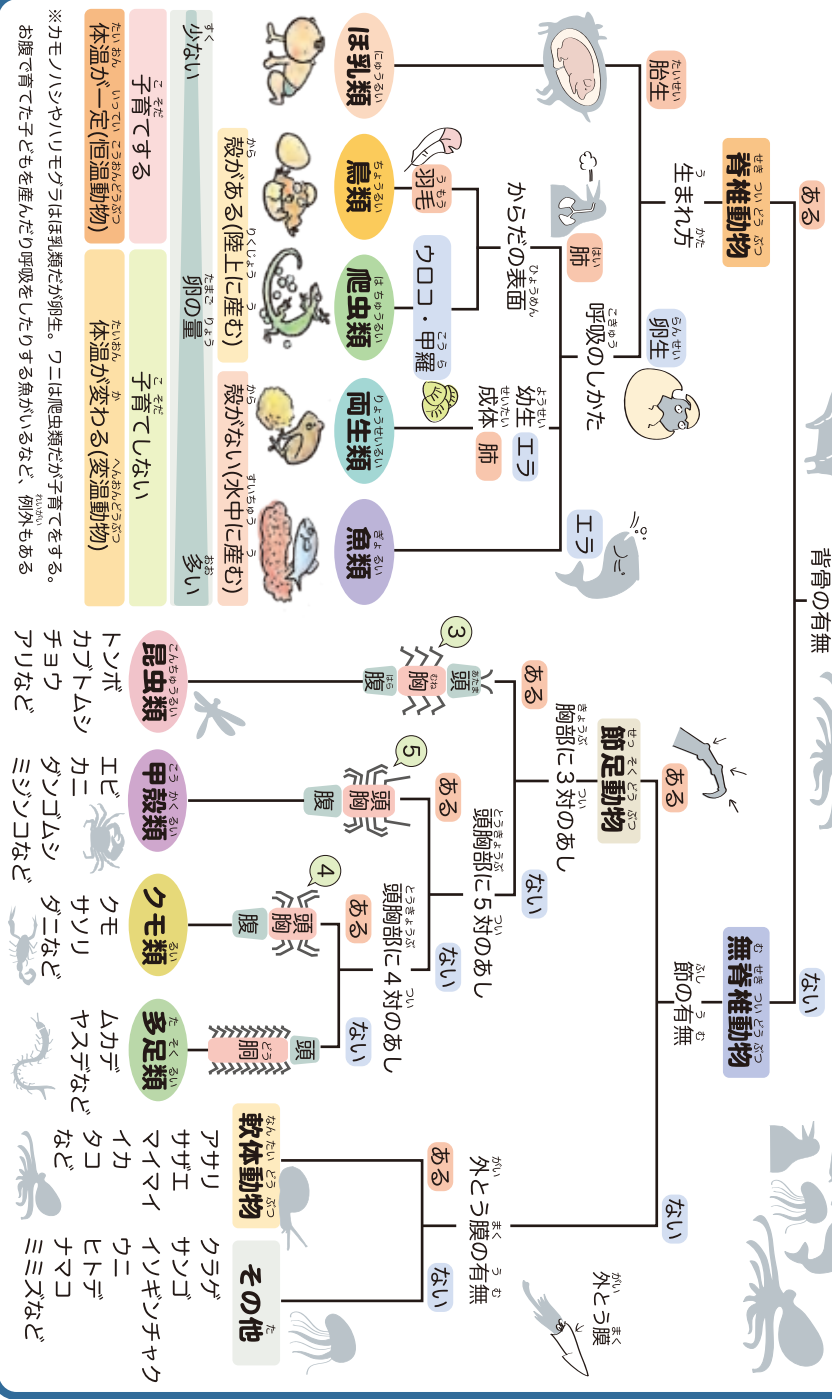
## 側対歩とは？

同じ体側の前足と後ろ足を同時に出す歩き方で、揺れが少ない。



当時の農民は乗馬を禁じられており、教していないのに側対歩で速く歩けたのは、石がゴロゴロする道を荷物が崩れないようバランスをとって歩かねばならなかったことで、自然と身につけた特技だったのではないかと考えられています。

## 動物の分類



※カモノハシやハイモウラはほ乳類だが卵生。ワニは爬虫類だが子育てをする。お腹で育てた子どもを産んだり呼吸をしたりする魚がいるなど、例外もある。